

1 単元名 デンマークの小学生と将来の夢を伝え合おう

(教材名『ONE WORLD Smiles6』(教育出版社),Lesson8 「What do you want to be ?」)

2 単元について

(1)児童について

【「書くこと」の領域について】

本学級の児童は、授業の中で慣れ親しんだ語句や表現を書き写したり、例文を参考にまとまった英文を書いたりしており、ほとんどの児童が、簡単な語句や基本的な表現を4線に正しく書き写すことができるが、単語と単語のスペースや文字のバランスを整えて書くことが苦手な児童や個別の支援を必要とする児童も1~2名いる。

【「話すこと(やりとり)」の領域について】

話すこと(やりとり)の活動では、中間評価で児童のモデルを紹介したり、使いたい表現を確認したりするなど、児童たちが意欲をもってやり取りができるようにしている。振り返りシートでも多くの児童が「自らすすんで活動を楽しむことができる」と答えている。理由をたずねたりしながら会話を続けようとする児童もいるが、内容についてその場で質問したり答えたりすることができる児童は4~5名である。

昨年度の英検 ESG の結果において、スピーキングとリーディングについては県の平均スコアを上回っていたが、リスニングとライティングの平均スコアは下回っていた。

(2)教材について

【つけたい力】

- 将来の夢について相手を応援する気持ちを持って伝え合い、会話を続ける力
- 将来の夢について理由や気持ちを添えて、まとまりのある例文を参考にしながら、紹介する文章を書く力

森中央小学校学習到達目標 (CAN-DO リスト)

話すこと [やりとり]

ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。

書くこと

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書くことができる。

(3)指導について

【言語活動例】

- 2学期に行ったデンマークの小学生との初めての交流でもっと伝えなかったことや、質問に対してもっと答えなかったことなどを思い出させ、3学期中に予定している2回目の交流の意欲へとつなげていく。2回目の交流では、お互いの夢を知りたいという児童の思いを高め、日本のことをあまり知らないデンマークの小学生と自分の夢を理由を付けて英語で紹介し合う。
- 職業名を扱ったゲーム活動や将来の夢を伝える表現を取り入れた Let's Say it Together (歌) や Let's Listen、HRT と ALT のスモールトークを繰り返し聞いて理解する。
- 1~2時では、基本的な表現についてイラストを用いて繰り返し聞き取ったり、相手をかえてインタビューし合ったりして、表現に慣れ親しむ。3~4時では理由や自分の考えを付け加えることで、相手によりわかりやすく伝わることや、詳しく知ることができることに気付きながら表現する。書くことに慣れるために毎時間ワークシートに1文ずつ書く活動を仕組み、5~6時の紹介シートを書く活動で児童が振り返ることができるように積み上げていく。5~6時では、簡単な語句や基本的な表現とともに、4線上に正しく単語を選んで書き写す活動を行う。

【言語材料】

- 表現 What do you want to be ? / I want to be a ~. / Why ? / I like ~. / I want to ~. / It is ~. Do you like ~? / Good luck! / Fantastic! / Nice dream! /
- 語彙 職業名、教科名、スポーツ名、動詞

3 単元の目標

将来の夢やその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりできる。また、将来の夢を紹介するシートを、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
話すこと [やり取り]	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<p><知識>職業名を表す語句や What do you want to be? I want to be a ~.等の表現や書終止符について理解している。</p> <p><技能>自分の将来の夢について What do you want to be? I want to be a ~.等の表現を用いて、考えを書く技能を身につけている。</p>	将来の夢や理由について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えを書いている。	将来の夢や理由について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えを書こうとしている。
話すこと [やり取り]	<p><知識>職業名を表す語句や What do you want to be? I want to be a ~.等について理解している。</p> <p><技能>自分の将来の夢について What do you want to be? I want to be a ~.等を用いて、考えを伝え合う技能を身に付けている。</p>	将来の夢やその理由について、質問をしたり答えたりしながら、お互いの考えや気持ちを伝え合っている。	将来の夢やその理由について、質問をしたり答えたりしながら、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。

6 指導と評価の計画(単元指導計画)(全7時間)

単元計画		評価 ★記録に残す評価		
題材/ねらい		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<p>「職業の言い方を知ろう」</p> <p>職業を表す語句や、なりたい職業のたずね方・答え方について、世界の子どものインタビューや ALT の話を聞くことを通して、理解することができる。</p> <p>○教 p.86-89</p>	<p>職業を表す語句や</p> <p>What do you want to be? I want to be a~.を用いた表現を理解している。</p> <p>【行動観察】</p>		

2	「将来の夢をたずねあおう」 将来なりたい職業ややってみたいことを、インタビュー形式のやり取りを通して、たずねたり答えたりすることができる。 ○教 p.89	将来なりたい職業について What do you want to be ? I want to be a ~. を用いてたずねたり答えたりしている。【行動観察】		
3 (本時)	「将来の夢とその理由を伝え合おう」 将来なりたい職業ややってみたいこととその理由を、インタビュー形式のやり取りを通して、たずねたり答えたりすることができる。 ○教 p.90	将来の夢について、I like ~. I want to ~. /It is ~. の表現を用いて、理由や自分の気持ちを付け加えて伝えることができる。 【行動観察】		
4	「将来の夢を伝え合おう」 将来なりたい職業ややってみたいこととその理由を、インタビュー形式のやり取りを通して、たずねたり答えたりすることができる。		★将来の夢やその理由について、自分の気持ちを付け加えたり、友だちの夢を応援したりしながら伝え合っている。 【記述分析】	★将来の夢やその理由について、自分の気持ちを付け加えたり、友だちの夢を応援したりしながら伝え合おうとしている。 【記述分析】
5	「将来の夢を紹介しよう」 将来の夢とその理由について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を、バランスよく書くために気を付けることを話し合うことで、正しく書き写すことができる。 ○教 p.91	将来の夢とその理由について、例文を参考に What do you want to be ? I want to be a ~. I like ~. I want to ~. It is ~. 等の表現を正しく書き写している。 【行動観察・シート】		
6	「将来の夢を紹介するシートを作ろう」 将来の夢とその理由について、伝えようとする内容を整理した上で、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いてシートを書くことができる。 ○教 p.91		★音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて3~5文程度で将来の夢について書いている。 【行動観察・シート・記述分析】	★音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて3~5文程度で将来の夢について書こうとしている。 【行動観察・記述分析】
7	「交流会に向けて将来の夢を紹介してみよう」 将来の夢とその理由について、伝わりやすいように順番を考えながら話すことができる。		将来の夢とその理由について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、自分の考えを伝えている。 【行動観察・記述分析】	将来の夢とその理由について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、自分の考えを伝えようとしている。 【行動観察・記述分析】

7 本時の指導(3/7)

(1) 題目 将来の夢とその理由をたずねあおう

(2) 本時のねらい 将来の夢とその理由について、インタビュー形式のやり取りを通して、お互いの考えをたずねたり答えたりして伝え合うことができるようにする。

時間	学習活動	指導上の留意点	備考・評価
2	Greeting ・挨拶をする	・ペアであいさつをさせる。 ・日づけ、曜日、天気をたずねる。(ALT)	
10	Warm-up ・Let's Say it together ・ベストマッチゲーム	・What do you want to be ? I want to be a ~.のやりとりをリズムに合わせて歌う。 ・児童に1枚ずつ職業カードを配り、ペアでたずねあい、相手と同じカードを持っていたら席に戻らせる。 A:What do you want to be ? B: I want to be a ().	
28	Activity ・small-talk ・めあての確認 ・将来の夢とその理由をたずねあう	・HRTとALTのやり取りを聞かせたあと、児童ともやり取りを行い、将来の夢やしたいことに加えて理由をたずねていることに気づかせる。 【会話例】 A : What do you want to be ? B: I want to be a (). / I want to (). A: Why? B: I like (). / I want to (). It is (). 将来の夢とその理由を伝え合おう ・数名の児童とやり取りを繰り返し、使われている表現に十分慣れさせる。 ・教師とのやりとりで、児童にとまどいが見られる場合は、HRTとALTのやり取りを何度も聞かせて、表現に気づかせる。 ・理由を伝える表現としてI like ~. / I want to ~. / It is ~.をなどがあることを確認し、自分が使える表現でやりとりをさせる。	「話すこと(やり取り)」(知識・技能)将来の夢の理由についてWhy? I like ~. I want to ~. It is ~.等を用いてたずねたり答えたりできる。【行動観察】

		<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【会話例】 A: What do you want ? B: I want to baker. A: Why? B: I like パン.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価を行い、言い方の難しい表現やわからない表現等がないかを確認し、全体で共有する。 ・HRTとALTは役割を分担し、児童の様子を把握する。 ・やり取りに困っている児童がいた場合は、児童どうして解決を促すようにする。 ・既習表現や参考になる表現を使ったり、友だちの夢を応援するリアクションをしたりしている児童をモデルとして紹介する。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【児童の会話例】 A: What do you want to be ? B: I want to be a soccer player. A: Fantastic! Why? B: I like soccer. It's fun.</p> </div>	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・Reflection ・Greeting 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを再確認し、振り返りカードに記入させ、数名の振り返りを全体で共有する。 ・終わりのあいさつをする。 	